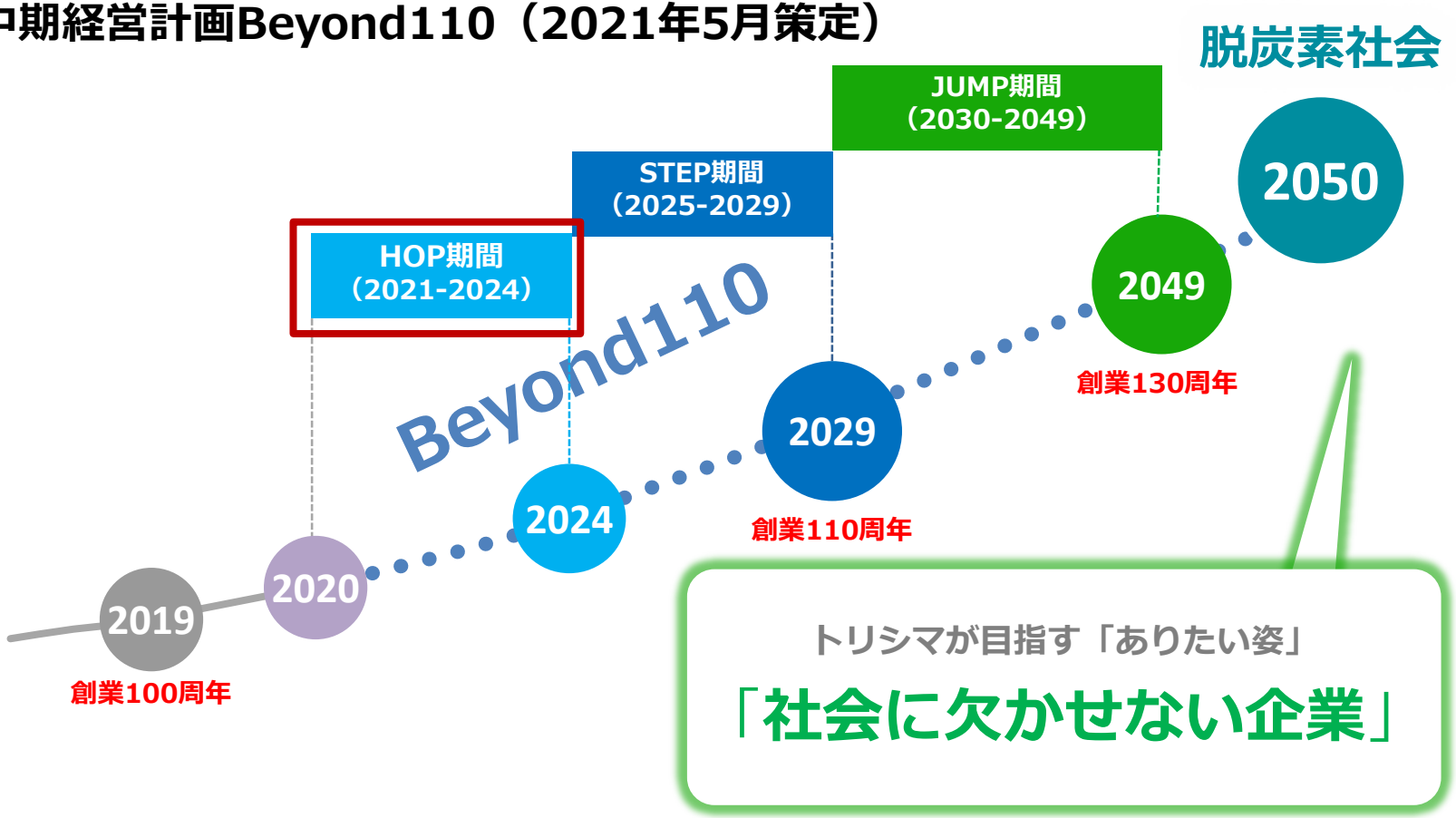
中期経営計画
Beyond110
V2

2024年5月14日

株式会社 酉島製作所（6363）

2050年 脱炭素社会の実現に向けたトリシマの長期ビジョン

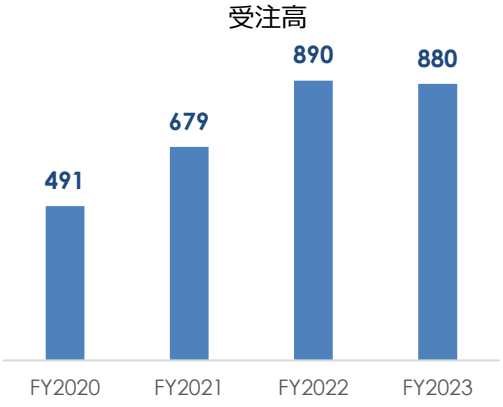
中期経営計画Beyond110（2021年5月策定）

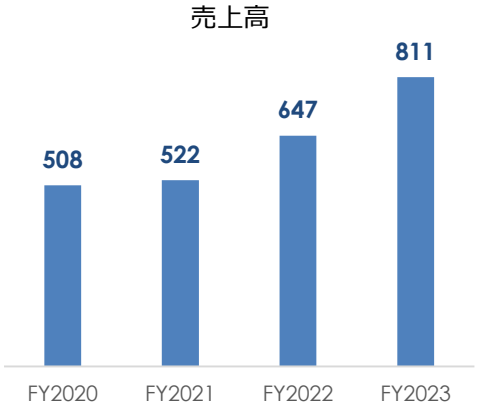


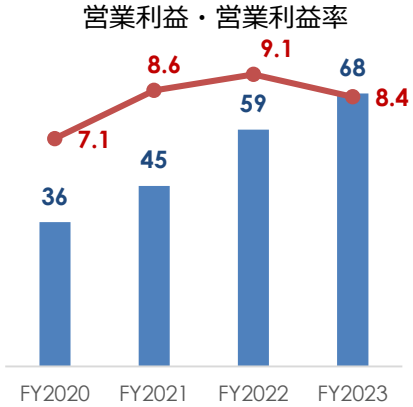
HOP期間の進捗状況

売上高と営業利益は、**毎年度、過去最高**を更新し、2022年度には、STEP期間の最終年度である2029年度の当初目標（売上高600億円以上、営業利益50億円以上）を**7年前倒しで達成**。

	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
受注高	491	679	890	880
売上高	508	522	647	811
営業利益 （営業利益率）	36 (7.1%)	45 (8.6%)	59 (9.1%)	68 (8.4%)





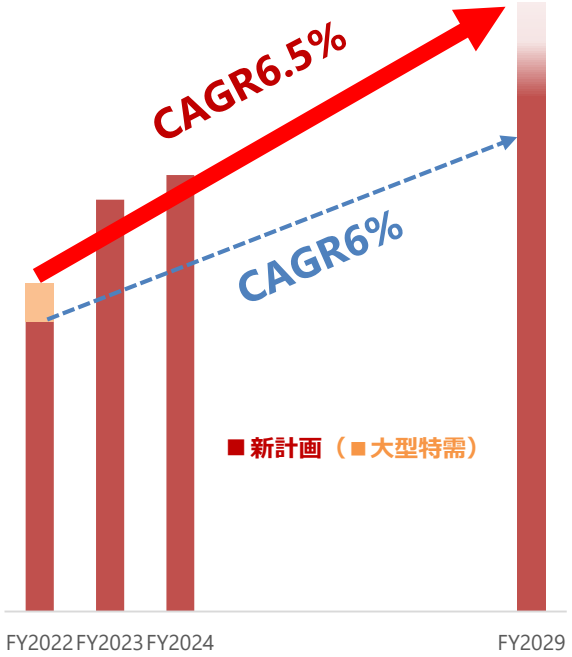


2029年度に向けた経営目標の改訂

旧計画：大型特需抜くベースで売上CAGR6%

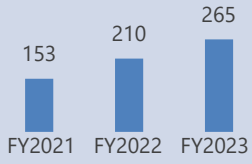
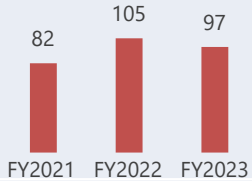
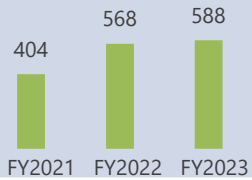
新計画：大型特需込みで売上CAGR6.5% → 売上高1,000億円規模をめざす

	2023年度 実績	旧計画 2029年度目標 (2023年5月公表)	新計画 2029年度目標
成長性 (売上CAGR)	16.9% (HOP期間平均)	6.0%以上 (大型特需除く)	**1,000億**円規模 (売上CAGR6.5%以上)
収益性 (営業利益率)	8.4%	9.0%以上	**10.0%**以上
効率性 (ROE)	12.8%	9.0%以上	**10.0%**以上



2024年度の業績見通し

受　　注：各需要部門で旺盛な需要を確実に取り込み、**2023年度と同規模を見込む。**
売　　上：豊富な受注残（950億円）を確実に消化し、**増収を見込む。**
営業利益：将来を見据えた人的投資、成長投資により販管費は増加するが、増収や利益率の改善で、**現行の収益水準の維持**する。

需要先	2024年度の見通し	年度末の受注残高 3年間推移（億円）
官需	• 豊富な受注残から大型案件を着実に売上計上し、増収を見込む。 • 受注環境は、国土強靭化への公共投資で安定しており、独自技術を用いた洪水対策向けポンプの提案力を強化することで、さらなるシェアの拡大を図る。 • 原価高騰分の売価への反映には、１～２年の時間を要する見通し。	
民需	• 受注残は高水準を維持しており、増収を見込む。 • 受注環境は、脱炭素化に向けた省エネニーズの拡大などにより引き続き堅調。 • 新分野では、液化アンモニア向け受注の立ち上がりを期待。 • サービス比率が伸びることにより、安定した利益率が見込める。	
海外	• 豊富な受注残と好調な海外子会社事業により、増収を見込む。 • 利益率の向上は、サービス比率の進捗次第。 • 新市場（深海海水淡水化や水素等の次世代エネルギー）向け受注活動を強化。	

2024年度連結決算見通し

- **5年連続の増収増益**を見込む。
- ただし、さらに円安が進んでいることに伴い、ヘッジ目的の為替予約の実現損が拡大するため、経常利益の伸びは見込めず。
  また、今期の保有有価証券売却益は前期の50%程度を予定しており、当期純利益は9億円程度の減少を見込む。

単位：億円

	2023年度実績	2024年度見通し	増減
受注高	880	890	+10
売上高	811	860	+49
営業利益 （営業利益率）	68 (8.4%)	73 (8.5%)	+5 (+0.1pt)
経常利益	63	63	±0
親会社株主に帰属する 当期純利益	62	53	▲9
為替レート	2024/3末:1＄=151.41円		想定150円

■単体

	2023年度実績	2024年度見通し	増減
売上高	629	670	+41
営業利益 （営業利益率）	43 (6.8%)	48 (7.2%)	+5 (+0.4pt)

■子会社

2023年度実績	2024年度見通し	増減
273	280	+7
28 (10.3%)	28 (10.0%)	±0 (▲0.3pt)

※子会社決算は子会社の連結調整前の数字となっております。そのため、単体＋子会社＝連結業績とはなりません。